



★ピアネット・マンスリーの発行について

ピアネット・マンスリーは各団体の活動状況に合わせて定期的に発行していきます。《ピアネット運営事務局》

ピアネット学生合同研修会

「ピアネット学生スタッフ合同研修会」を開催しました

12月2日(土)、市ヶ谷キャンパス 外濠校舎3階S307教室にて、「2017年度ピアネット学生スタッフ合同研修会」を開催しました。

本学学生、教職員合わせて67名(学生56名、教職員11名)が参加しました。

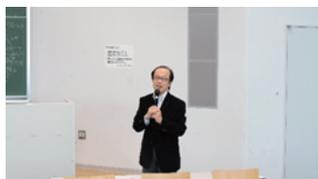
ピアネットでは、学生スタッフに対して毎年1~2回の合同研修会を開催し、学生スタッフの成長を図るためのピアネットコンピテンシーを作成するなど、学生スタッフ間はもちろん、学生スタッフを抱える部局の教職員間の連携、情報共有を行っています。今回は、課外教養プログラムプロジェクト(KYOPRO)スタッフ、ボランティアセンター学生スタッフ(VSP・チームオレンジ)、ライブラリーサポーター、グローバルデイ実行委員、JLP学生スタッフ、学生FDスタッフ、学習ステーション学生スタッフの計8団体が研修に集いました。

2017年度ピアネット学生スタッフ合同研修会は、第1部に本学講師の三田地真実先生(星槎大学大学院教育実践研究科教授)の講演(グループワーク含む)、第2部にピアネット各団体の活動報告を行い、第3部では情報交換会を行いました。

第1部の講演では、三田地先生から「ファシリテーションについて」をテーマにお話をいただきました。「ファシリテーターってなににする人?」という基本的なことから説明があり、実際に動画視聴やグループワークを通して、参加者はファシリテーション定義や行動のキーワードなどを学びました。第2部の各ピアネット団体の活動報告では、各参加団体の説明、1年間の総括、活動を通して学んだことについて、報告がありました。質疑応答では、活発な意見交換が交わされました。

第3部の情報交換会では、ユニットの枠を超えて交流するスタッフの姿が多く見られ、研修を通して、各ユニットや学生スタッフ全体の親睦が深まりました。最後には、各ピアネット団体の代表者から今後の抱負が語られ、互いに健闘を称えている様子が見受けられました。参加した学生スタッフからは、「他団体の活動を知ることができて勉強になった」「他団体の学生スタッフと関わって良かった」「次年度の活動に向けて刺激を受けた」等の声が寄せられました。

今後も各々のユニットにおける活動はもちろんのこと、ピアネット全体としての活動も積極的に展開していきたいと考えております。



開会挨拶をされるピアネット運営委員長
佐野 哲 先生



講演をされる三田地 真実 先生



各ピアネット団体による活動報告



情報交換会に参加した
学生スタッフのみなさん

課外教養プログラム

「3キャンパスバスツアー」を実施しました

2017年11月25日(土)、市ヶ谷・多摩・小金井キャンパスを巡る「3キャンパスバスツアー」を実施しました。講師には、法政大学の歴史に詳しい文学部の小林ふみ子教授と、日本の天文学会の第一人者である理工学部の岡村定矩教授をお招きしました。

同じ法政大学の学生でも、所属キャンパスを超えて活動する学生や、各キャンパスの魅力や違いを知っている学生は多くありません。

そこでこのプログラムでは、学生が法政大学についての知識をより深めるとともに、所属キャンパスを超えた学生間の交流を目的としました。

当プログラムでは、多摩キャンパスを走る校内循環バスを貸し切り、3キャンパスを1日かけて巡りました。市ヶ谷キャンパスでは、小林ふみ子教授に法政大学の歴史についての講義をして頂きました。そして、講義終了後には「ミッションツアー」として、市ヶ谷キャンパス内の指定されたスポットをグループに分かれて巡り、魅力の発見を行いました。その後の多摩キャンパスへの移動の車中では、法政大学に関連したクイズを行い、グループ対抗で相談をしながら楽しみました。多摩キャンパスでは、昼食としてバーベキューを行いました。昼食後は、馬術部協力のもと馬の餌やり体験や、練習風景の見学をしました。そして、バスに乗って広大な多摩キャンパスの敷地内を巡りながらスタッフが建物や見所の紹介を行った後、小金井キャンパスへ移動しました。小金井キャンパスでは、岡村定矩教授にご協力頂き、普段学生が立ち入ることのできない屋上へ上がり、天体望遠鏡の解説を聞いたり、双眼鏡を用いて月の観測を行ったりしました。また、小金井キャンパス全体を見渡すことのできる場所でスタッフが建物や周辺施設の説明を行いました。この企画を通して今まで知らなかった法政大学の魅力を発見し、他キャンパスにも興味関心を持ってもらうきっかけを作ることができたのではないかと思います。

今回のプログラムは、3キャンパスのKYOPROスタッフが合同で作り上げ、過去にない大きなプログラムとなりました。参加者からは「今まで知らなかった法政大学を知ることができた」「他キャンパスの人と交流ができて良かった」「法政大学の学生であることに自信が持てた」などの声があり、とても満足度の高いプログラムとなりました。

今後もKYOPROでは、より良い学びのきっかけ作りのために様々なプログラムを実施していきます。



小林教授による
講義の様子(市ヶ谷キャンパス)



法政Vブリッジにて施設の
説明をする様子(多摩キャンパス)



屋上で月を観測する参加学生(小金井キャンパス)



岡村教授とともに集合写真(小金井キャンパス)

ボランティアセンター

「日本橋発！ボートで行く水の町東京清掃ボランティア」を実施しました

12月3日（日）、市ヶ谷ボランティアセンターでは、ボランティアセンター学生スタッフ（VSP）による企画で、『日本橋発！ボートで行く水の町東京清掃ボランティア』を実施し、20名の学生が参加しました。東京は多くの水路や運河を所有する水の都です。

今回はボートに乗り、東京の水路や運河の見学や清掃活動を通し、大都市東京のみおとしがちな自然保護の重要性を感じてもらうため運河の護岸で清掃活動を行いました。当日は、日本橋下の棧橋からボートに乗り込み、今回の活動に協力してくれたNPO法人遊んで学ぶ自然倶楽部の方に東京の水路についての解説をしていただきました。その後、清掃活動場所の護岸に到着すると、多くのごみが落ちており、ペットボトルや発泡スチロール、ビン類、衣服類、ボールなどの多種多様なたくさんのゴミを2時間程度、参加者全員で回収しました。参加した学生からは、大量のゴミが流れ着いていることを目の当たりにして、「私たちが意識していないところにも改善すべき問題が存在していることを痛感しました。」「今回の経験を活かし、環境について考え、視野を広げていきたい」などの感想がありました。

東京臨海部の雄大な風景に注目がいき、ごみの存在に気が付かない人はたくさんいると思います。しかし、東京の護岸には今もなお確実にごみが蓄積しており、それがボランティアの力によって処理され東京の水辺の美しさが維持されているということを今回のボランティアを通して参加者に理解もらうことができました。



ボートの中で活動の注意事項について説明を受ける



漂着したゴミを拾う



集合写真

キャリアセンター

学生サポーター企画第1弾、第2弾を実施しました！

ゼロから学生サポーターが考えた企画は、毎回大好評です！！

①企画第1弾「就活の現実（リアル）知りたくない？」を3日間実施！

4年生が自身の経験を踏まえて、キャリアセンターの使い方や就職活動のリアルな裏事情を3年生にお話ししました。なんと3日間で100名以上が参加！参加した3年生は、就職活動に向けて一歩踏み出すことができたようです。

②企画第2弾「業界!! 熱盛～熱く盛り上がる学サポーターーク！」を2日間実施！

業界別座談会を実施し、学生サポーターが自身の業界研究方法や就職活動の軸についてじっくり語りました。企画第1弾に引き続き参加してくれた3年生もあり、タイトルに負けないうくらい熱く盛り上がりました。



イベントの様子。

まずは学生サポーターの自己紹介から始めます。



イベント終了後の集合写真。

チームワークが一段と強まりました。



学習ステーション

「常駐アシスタント・プログラム」を実施しました

常駐アシスタント・プログラムを学習ステーション（富士見坂校舎2階）で9月18日～12月22日（土日・祝日除く）の期間で実施しました。

お金の使い道やお金に関する知識を学ぶプログラム、演説などかたいテーマから恋愛などゆるいテーマでディスカッションやディベートを行うプログラムなどを行い、参加者からは「楽しみながら知識を得られた」「勉強になった」など感想が寄せられました。2017年度の活動は終了となりますが、2018年度は4月より始動する予定です。



プログラムの様子



◆編集後記◆

早いもので2017年もあっという間に過ぎてしまいました。皆さんにとって2017年はどんな年でしたか。2017年の今年の漢字は「北」に決定しましたね。

世界情勢や日本で話題になった内容を踏まえ、「北」が多くの票を集めたようです。個人的に思うピアネットにとっての今年の漢字は「変」です。

ピアネットの運営体制が変わったこと、ピアネット学生スタッフ合同研修会の活動報告にライブラリーサポーターが新たに加わるなどピアネットにとっての変化（プラス）があったこと、等々を踏まえ「変」が適していると思いました。今年の漢字を決定するにあたり、色々と1年を振り返るきっかけにもなりますので、みなさんもぜひ、自身にとっての今年の漢字を考えてみてください。

ピアネットマンスリーですが、2017年度も多くの活動を報告させていただきました。2018年度もより一層多くの活動を報告できることが期待されます。

ピアネットマンスリーについてのご感想をお待ちしております。◀事務局：堀越>